

洞爺湖町議会令和元年 1 2 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
9 番 下 道 英 明	1 教育行政について 2 町営住宅管理について	(1) 2020 年度から順次実施される新学習指導要領において、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられ、特に小学校においてはプログラミング教育が必修化され、積極的に ICT が活用される。当町における ICT 環境整備の考えと進捗状況を伺う。また、ICT 環境の整備充実に向けた余裕教室の利用、併せて余裕教室を保育所施設活用に転用する推進方針をお伺いします。 (1) 定住・移住の基礎となる住宅施策において、福祉・まちづくり・環境等の連携から町営住宅管理についてお伺いします。 ① 当町における町営住宅管理の基本方針は。 ② 町営住宅の状況（属性別の空室率、半年以上の長期空室物件、状況別の入居待機率など）は。 ③ 入居条件見直し等による需給ギャップの現状は。 ④ 多様化する住宅困窮者、入居者の高齢化対応は。 ⑤ 住宅管理人の高齢化、なり手不足の対応対策として、町営住宅の指定管理者制度導入の考えは。	①
5 番 立 野 広 志	1 職員の人事管理・配置基準について	(1) 行政の事務処理や住民対応の面で、懸念される事象が見受けられる。どんな業務においても、住民にとって町職員はスペシャリストであることが望まれる。	②

洞爺湖町議会令和元年 1 2 月会議一般質問

5 番 立 野 広 志	2 町の外郭団体で働く職員の待遇と業務の改善について 3 親しまれ、愛される地域公共交通対策に向けた抜本的対応を求める。	(2) 経験や知識が浅い職員の研修機会の強化、町民や利用者との間で合意されてきた慣習など、配置換えにおける引継ぎ事項の徹底が必要です。更に、法や制度の改正・変更などにより、より高度な専門性や経験・熟達求められる業務が増加している。安易な配置換えは、職員の負担を増やし、ミスや錯誤を引き起こす要因ともなり、町民サービスを後退させるものです。業務に精通し専門職としての知識や経験、技能を積んだ職員が、しっかりと住民への適切な説明や対応、アドバイスができることが望まれる。町長の人事管理や配置基準、異動の在り方について問います。 (1) 町行政の組織の外にありながら、事業・活動の内容や人事などの面で町と密接な関連をもち、町の補完的な業務をおこなう外郭団体、例えば、洞爺湖ビジターセンター等利用協議会や洞爺湖町社会福祉協議会などで働く職員の雇用条件や待遇など、業務内容に見合った改善がなされるべきではないか。 (2) 洞爺湖ビジターセンター、財田自然体験ハウスの目的と役割、協議会への管理運営に関する協定の内容及び、施設の利用促進について。 (1) 平成 2 6 年 1 0 月、3 つの運行形態による公共交通の運行が開始され、この間、運行形態の見直しが行われ現在に至っている。住民の生活交通手段の維持・確保や合併に伴う地域住民の交通の面での一体感が図られてきたか。 (2) 住民への認知度、住民の意向把握など「地域公共交通活性化協議会」ではどのように議論してきたのか。 (3) 平成 2 9 年度・3 0 年度は、どの運行形態においても利用実績は前年対比で減少している。その要因として高齢者利用料金の有料化以外に考えられていることは何か。	②
------------------------	--	---	----------

洞爺湖町議会令和元年 1 2 月会議一般質問

5 番 立 野 広 志		(4) 総事業費に対し、地域内フィーダ系統確保維持費国庫補助金は 20 % にも満たない。町の一般財源は 70 % を超えている。今後、一般住民や観光客の利用者の増加も視野に、親しまれ、愛される交通体系の整備を抜本的に行うべきではないか。	②
8 番 今 野 幸 子	1 学校教育について 2 子どもの貧困対策について	(1) 教職員のしごとの内容と勤務時間の現状をどのようにとらえているのか。 (2) 児童・生徒の現状についての認識は。 (3) 学校にいけない児童・生徒に対するの支援対策をどのように考えているのか。 (4) 日本語がわからない転入生へのサポート対応について (1) 子どもの貧困の現状をどのように把握しているのか。 (2) これまでの対策と支援内容について (3) 子どもの貧困の要因となっている、保護者の経済的支援、就労支援とともに、学習支援など、今後の対策はあるか。	③
10 番 石 川 邦 子	1 介護や福祉の相談員の配置について 2 洞爺湖町史の編纂について	(1) 高齢者、障害者、児童、生活保護など、介護や福祉などの相談支援について、福祉ニーズが多様化・増大している中、きめ細かなケースに対応するため、また福祉的住民サービスの向上の観点からも相談員の配置が必要と思うがその考えは。 (1) 合併前の旧町村単位での町史・村史はあるが、合併して 13 年が経ち、また平成から令和に移り、これまでの町のあゆみを編纂する必要があると考えるが、発刊に向けた計画について伺います。	④

洞爺湖町議会令和元年12月会議一般質問

6 番 五十嵐 篤 雄	1 農業振興について	(1) 洞爺湖町の農業を維持継続させるためには、担い手の確保が重要です。安定した収入、機械やITを活用した労働改善などの条件が必須です。洞爺湖町の農業力（数量的データ）の現状について伺います。そして、どう評価していますか。 （農家戸数、農業者数、生産額、主要生産物の生産量、販売額、耕作面積、一戸の平均所得や労働時間、機械化の進捗状況など） (2) 地域農業の課題と対策について伺います。 ・農業が有する多面的機能の維持のために、農水省の多面的機能支払交付金を活用していますが、制度の概要と当町においてどのように活用されているか伺います。また、担い手対策としてどの程度の効果が生まれているかも伺います。 ・鳥獣（エゾシカ・アライグマなど）による農作物被害の状況は、また、捕獲数は増加しているのか。捕獲対策の予算は十分か。道東地域では、長距離にわたって侵入を防ぐ柵が設置されているが、当町において、柵の設置はできないのか。 ・財田地区の稲作のブランド化や担い手不足を補う新しい生産体制の取組みの可能性は。また、水田用水に課題はないか。扇状地形でのどかな里山としての農村景観の地域指定で地域振興やブランド化の推進が図れると思うが。 (3) グローバルギャップ認証制度に関して伺います。 ・JAとうや湖のクリーン農業の取組みとしてこの認証を実施していますが、制度の内容や農家の取組み状況、費用について伺います。また、助成制度はありますか。 ・認証を受けた生産品の活用やPRの方法についてその魅力をどう活かしているのか。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックに認証を受けた農産物を提供できる機会として強く取組むべきと思うが。	⑤
------------------------	-------------------	---	----------

洞爺湖町議会令和元年 12 月会議一般質問

6 番 五十嵐 篤 雄	2 道路案内標識について	(1) 国道や道道に設置されている道路案内標識について地域の意見や要望が受入れ可能か。 (2) 町内に設置されている標識について何ヶ所かの課題（要望）について対応を伺います。	⑤
11 番 板 垣 正 人	1 農作物への鳥獣による被害状況と対策（ドローンの活用・規制）について 2 温泉中央通り眺湖通りの安全対策・振動・騒音問題について 3 防災・減災について	(1) 近年、エゾシカ、アライグマによる農作物への被害が増加しているが、近年の被害状況と、生息頭数等を伺います。 (2) 急速に生息頭数を拡大していると思われるが、今後の対策、施策（ドローンの活用も含め）を伺います。 (1) 大型車両の通行による振動・騒音がひどく、近隣住民がたいへんな思いをしているが、町の考えを伺います。 (1) 本町地区の板谷川・温泉地区の西山川・小有珠川が草・木等で年々ひどい状況になり緊急な対策が必要と思われるが町の考えは。	⑥
1 番 越前谷 邦 夫	1 魅力ある地域社会創造にむけた洞爺湖町の行方は	(1) 地域医療構想を巡って厚労省が 9 月に再編議論を必要とし、全国 424 の公立、公的病院名を突然の実名公表した。道内は 54 病院、胆振は 3 病院、社会福祉法人北海道社会事業協会洞爺病院（洞爺湖町）、独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院（登別市）、白老町立国民健康保険病院（白老町）が対象とされた。強制力がないが令和 2 年 9 月までに結論出すとの事、病院再編された場合、洞爺湖町としては地域医療の衰退はもちろんの事、経済、雇用、定住等未来志向のまちづくりに大きな影響が出る。公的病院の統合、再編に反対する行動を積極的に進めることが求められるが。	⑦

洞爺湖町議会令和元年 1 2 月会議一般質問

1 番 越前谷 邦 夫		(2) 子供は町の宝、会員制交流サイト（SNS）を通じて見知らぬ人と知り合い、事件に巻き込まれる子供が全国的に増えている。道内 1 0 月末、すでに 1 1 7 人の被害者が出ている。家庭、学校、地域で被害の防止、犯罪防止は社会の責務である。洞爺湖町の防犯に対する取組は。 (3) 平成 2 9 年 3 月 1 6 日道道洞爺湖登別線眺湖通りが全線開通したが、未だに信号機、横断歩道（2 設置）が設置されていない。平成 3 0 年 9 月会議では設置には 7 ヶ月の期間が要すると答弁された。未だに設置されないその理由、根拠は。 (4) 高齢化が進み、さらには運転免許証返納者が増えてきている。 地域公共交通のきめ細かなルートを希望する声が高まっている。その声にどう答えるのか、伺いたい。	⑦
------------------------	--	--	----------